

第20回

# 環境 コミュニケーション 大賞

## 「環境報告書部門」 作品募集

事業者の環境報告書やCSR報告書等を募集します！！

今年度の  
特長

- ・第20回特別記念賞の表彰
- ・第20回を記念して受賞ロゴマークを制定

エントリー開始

エントリー締切

10月4日(火)

11月8日(火) ※当日消印有効

奮って  
ご応募  
ください!

第19回  
大賞受賞

## イオン株式会社

お子様から投資家まで、さまざまなお客様に取組を紹介

当社では店頭でのコミュニケーションを重視するのはもちろん、「お客様第一」の姿勢から、幅広いステークホルダーの皆様へ環境課題や社会課題に対しどのように取り組んでいるのかを理解していただきたく、対象者別に媒体物を編集しています。詳細情報を掲載する「環境・社会報告書」の他に、取引先やイベントに参加いただくお客様向けに、雑誌感覚の読み物で特徴的な取り組みを紹介する「サステナビリティマガジン」を作成。お子様には当社の理念を实践する取り組みである植樹活動を、イラスト豊富なリーフレットで紹介しています。「環境・社会報告書」の制作にあたっては、有識者の先生方と対話を行い、外部からの評価や期待にお応えできる内容を目指しています。

第19回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門大賞受賞 イオン株式会社の各種冊子



イオン環境・社会報告書2015



イオンの環境・社会への取り組み2015



イオンの環境・社会への取り組み2015 (子ども用リーフレット)

評価のポイント

対象読者別に読みやすく工夫して編集

環境配慮経営における環境、ガバナンス、人権、労働慣行等の記載が丁寧



「環境・社会報告書」は全社のさまざまな部門が協力して制作していますが、昨年度の大賞受賞は経営幹部をはじめイオングループ内でも話題となり、私たちにとって大きな励みになりました。今後は、期待されている長期目標の策定に向けて、小売事業者だからこそできる ESG の取組の方向性を、継続的に、丁寧に検討していきたいと考えています。



主催 環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム

協賛 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会

協力 一般財団法人持続性推進機構、日本公認会計士協会

後援 株式会社東洋経済新報社、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、株式会社日本取引所グループ

募集の詳細は裏面をご覧ください

## 平成28年度環境コミュニケーション大賞運営方針

昨年は、第70回国連総会において定められたSDGsや、気候変動枠組条約締結国会議（COP21）で合意を得たパリ協定が発表されるなど、世界を取り巻く環境は大きな転換期を迎えました。

環境報告の世界でも、国際的なサステナビリティレポートのガイドラインの改定や、財務・非財務情報の統合化、ESG情報の開示を通じた企業と投資家の対話の促進など、大きな転換期を迎えています。

以上のような社会的背景や、事業者の自主的な低炭素・脱炭素化の動きがある中で、環境等に配慮した取組を進め、積極的な情報開示を図ることは、事業者の持続的な発展のためにますます重要視されるようになっていきます。

第20回環境コミュニケーション大賞では、第20回を記念した特別記念賞や、受賞事業者が使える環境コミュニケーション大賞ロゴの策定により、事業者の環境コミュニケーションの質の向上に取り組めます。

## 第20回環境コミュニケーション大賞のスケジュール

**作品募集期間**  
**10月4日(火)**  
～**11月8日(火)**  
当日消印有効

**募集対象は？**  
平成27年11月から平成28年10月までに発行された「環境報告書（環境・社会報告書、持続可能性報告書、CSR報告書、統合報告書などを含む）」が対象です。工場等のサイト単位で発行した「サイトレポート」も応募できます。

**11月上旬  
～1月上旬**  
ワーキンググループ委員会\*による1次審査の実施

※ワーキンググループ委員会では、環境報告書に様々な立場から関わる専門家が、それぞれの立場から報告書の審査を行います。  
(例：学識経験者、事業者、会計士、環境コンサルタント等)

**1月下旬**  
最終審査委員会の開催

【環境コミュニケーション大賞審査委員】（委員長を除く50音順：予定）  
委員長：八木 裕之（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）  
奥山 祐矢（環境省総合環境政策局環境経済課長）  
小澤 ひろこ（国際統合報告評議会（IIRC）日本事務局）  
岸上 恵子（日本公認会計士協会常務理事）  
上妻 義直（上智大学経済学部教授）  
後藤 敏彦（環境監査研究会代表幹事）  
佐藤 泉（弁護士）  
寺田 良二（一般社団法人サステナビリティ情報審査協会副会長）  
藤村コノエ（認定NPO法人環境文明21共同代表）  
森下 研（一般財団法人持続性推進機構専務理事）

**2月22日(水)**  
表彰式の開催



募集の詳細はこちらをご覧ください → <http://www.gef.or.jp/>

## 第20回環境コミュニケーション大賞 審査委員長 八木裕之氏からのメッセージ



八木裕之氏

環境コミュニケーション大賞は、今年で20回目の節目を迎えました。本制度がこれからも事業者の環境コミュニケーションの活性化に寄与していくためにも、次の10年を見据えた実施体制への移行を進めています。

近年、SDGsやパリ協定の発表により、持続可能な社会づくりや気候変動への取組に向けて、事業者への期待・役割は大きなものとなり、事業者の持続的成長に向けて環境経営は事業の重要戦略に位置付けられ、より長期的な視野を持ちながら事業活動と統合して取り組むことが求められるようになりました。また、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）による国連責任投資原則（PRI）への署名や、日本版ステューワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードの発表により、事業者は今後ますますESGに関する取組とその情報開示を加速させ、企業と投資家の非財務情報における対話もますます活発になるでしょう。

環境情報のコミュニケーションが重要となるなか、ぜひ、第20回環境コミュニケーション大賞へ御応募いただき、他事業者のベストプラクティスを学び、環境コミュニケーションのあり方を共に考えていく機会にしていただければ幸いです。

### ●本事業について

環境省総合環境政策局環境経済課  
課長補佐：齋藤 担当：藤原、二見  
電話：03-5521-8229

### ●お申込等に関するお問合せ（事務局）

株式会社ダイナックス都市環境研究所  
担当：北本、江澤、谷口、佐久間  
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-5TKK 西新橋ビル 3F  
電話：03-3580-8221 メール：eco-com20@dynax-eco.com